

# 社会福祉法人松山会定款

## 第1章 総 則

(目的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援すること及び心身ともに健やかに育成されることを目的として、次の社会福祉事業を行う。

- (1) 第一種社会福祉事業
  - (イ) 軽費老人ホームの経営
  - (ロ) 特別養護老人ホームの経営
- (2) 第二種社会福祉事業
  - (イ) 老人デイサービス事業の経営
  - (ロ) 老人短期入所事業の経営
  - (ハ) 老人居宅介護等事業の経営
  - (ニ) 障害福祉サービス事業の経営
  - (ホ) 老人介護支援センターの経営
  - (ヘ) 生計困難者に対する相談支援事業
  - (ト) 養育支援訪問事業の経営
  - (チ) 母子家庭日常生活支援事業の経営
  - (リ) 父子家庭日常生活支援事業の経営
  - (ヌ) 寡婦日常生活支援事業の経営

(名称)

第2条 この法人は、社会福祉法人松山会という。

(経営の原則等)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取り組みとして、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者等を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を大分県大分市下郡山の手2番17号に置く。

## 第2章 評議員

(評議員の定数)

第5条 この法人に評議員7名以上8名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第6条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

2 評議員選任・解任委員会は、監事1名、事務局員1名、外部委員1名の合計3名で構成する。

3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。

4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。

5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員が出席し、かつ、賛成することを要する。

(評議員の資格)

第7条 社会福祉法第40条第4項及び第5項を遵守するとともに、この法人の評議員のうちには、評議員のいずれか一人及びその親族その他特殊の関係がある者（租税特別措置法施行令第25条の17第6項第1号に規定するものをいう。以下同じ。）の合計数が、評議員総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

(評議員の任期)

第8条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとすることができる。

3 評議員は、第5条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第9条 評議員に対して各年度の総額が50万円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算出した額を、報酬として支給することができる。

### 第3章 評議員会

(構成)

第10条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

2 評議員会に議長を置くこととする。但し、議長はその都度評議員の互選で定める。

(権限)

第11条 評議員会は、次の事項について決議する。

(1) 理事及び監事の選任又は解任

(2) 理事及び監事の報酬等の額

(3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給基準

(4) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認

(5) 定款の変更

(6) 残余財産の処分

(7) 基本財産の処分

(8) 社会福祉充実計画の承認

(9) 事業計画及び収支予算

(10) 臨機の措置（予算外の新たな義務の負担及び権利の放棄）

(11) 公益事業に関する重要な事項

(12) 解散

(13) 合併

(14) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第12条 評議員会は、定時評議員会として毎会計年度終了後3ヶ月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第13条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第14条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(1) 監事の解任

(2) 定款の変更

(3) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第16条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第15条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名は、前項の議事録に記名押印する。

## 第4章 役員及び職員

(役員の数)

第16条 この法人には、次の役員を置く。

(1) 理事 6名以上7名以内

(2) 監事 2名

2 理事のうち1名を理事長とする。

(役員を選任)

第17条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(役員の資格)

第18条 社会福祉法第44条第6項を遵守するとともに、この法人の理事のうちには、理事のいずれか一人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

2 社会福祉法第44条第7項を遵守するとともに、この法人の監事には、この法人の理事（その親族その他特殊の関係がある者を含む。）及び評議員（その親族その他特殊の関係がある者を含む。）並びに、この法人の職員が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係がある者であってはならない。

(理事の職務及び権限)

第19条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。

3 理事長は、毎会計年度に4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第20条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第21条 理事又は監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとすることができる。

3 理事又は監事は、第16条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第22条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第23条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等として支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(責任免除)

第24条 理事、監事が任務を怠ったことによって生じた損害について、社会福祉法人に対し賠償する責任は、職務を行うについて善意でかつ重大な過失がなく、その原因や職務執行状況などの事情を勘案して特に必要と認める場合には、社会福祉法第45条の20第4項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第113条第1項の規定により免除することができる額を限度として理事会の決議によって免除することができる。

(職員)

第25条 この法人に、職員を置く。

2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において、選任及び解任する。

3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

## 第5章 理事会

(構成)

第26条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

2 理事会に議長を置き、理事長がその任にあたる。

(権限)

第27条 理事会は次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長の選定及び解職

(招集)

第28条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第29条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることできるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第30条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 理事会に出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第6章 資産及び会計

(資産の区分)

第31条 この法人の資産は、これを分けて基本財産、その他財産及び公益事業用財産の三種とする。

2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

(1) 軽費老人ホーム「白寿苑」

(建物) 苑舎 1棟

大分県大分市下郡山の手170番地1所在の鉄筋コンクリート造陸屋根  
3階建 1,686.84平方メートル

(土地) 苑舎敷地5筆

大分県大分市下郡山の手170番1 宅地 2,149.22平方メートル

大分県大分市下郡山の手170番5 宅地 413.23平方メートル

大分県大分市下郡山の手172番2 宅地 18.53平方メートル

大分県大分市下郡山の手745番6 山林 129.00平方メートル

大分県大分市下郡山の手749番10 山林 163.00平方メートル

(2) 特別養護老人ホーム「緑風苑」

(建物) 苑舎 2棟

大分県大分市下郡山の手167番地3、750番地4所在の鉄筋コンクリート造陸屋根2階  
建 2,135.87平方メートル

大分県大分市下郡山の手749番地1所在の鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1,457.22平方メートル

(土地) 苑舎敷地5筆

大分県大分市下郡山の手167番3 宅地 1,349.74平方メートル

大分県大分市下郡山の手750番4 宅地 886.29平方メートル

大分県大分市下郡山の手749番1 山林 976.00平方メートル

大分県大分市下郡山の手747番 山林 228.00平方メートル

大分県大分市下郡山の手749番3 山林 594.00平方メートル

(3) デイサービスセンター (B型)

(建物) 苑舎 1棟

大分県大分市下郡山の手172番地1、176番地1、176番地2所在の鉄筋コンクリート・鉄骨造アルミニウム板葺2階建582.81平方メートル

(土地) 苑舎敷地3筆

大分県大分市下郡山の手172番1 宅地 312.05平方メートル

大分県大分市下郡山の手176番1 宅地 231.00平方メートル

大分県大分市下郡山の手176番2 宅地 8.82平方メートル

(4) 紅葉苑デイサービスセンター絆

(建物) 苑舎 1棟

大分県大分市大字羽田字菖蒲田73番地6所在の鉄骨造平屋建160.25平方メートル

(土地) 苑舎敷地9筆

大分県大分市大字羽田字菖蒲田71番17 宅地 1.93平方メートル

大分県大分市大字羽田字菖蒲田73番2 宅地 18.27平方メートル

大分県大分市大字羽田字菖蒲田73番3 宅地 25.07平方メートル

大分県大分市大字羽田字菖蒲田73番6 宅地 205.57平方メートル

大分県大分市大字羽田字長田75番50 宅地 43.30平方メートル

大分県大分市大字羽田字其平38番4 宅地 22.16平方メートル

大分県大分市大字羽田字其平39番5 宅地 35.06平方メートル

大分県大分市大字羽田字其平38番6 宅地 5.77平方メートル

大分県大分市大字羽田字其平39番6 山林 5.86平方メートル

(5) 紅葉苑デイサービスセンターこころ

(建物) 苑舎 1棟

大分県大分市大字羽田字菖蒲田70番地1、73番地1、大分県大分市大字羽田字其平39番地1所在の鉄筋コンクリート造陸屋根3階建内885.45平方メートル

(土地) 苑舎敷地5筆

大分県大分市大字羽田字其平38番5 宅地 12.62平方メートル

大分県大分市大字羽田字其平39番1 宅地 490.12平方メートル

大分県大分市大字羽田字其平40番2 宅地 0.70平方メートル

大分県大分市大字羽田字菖蒲田70番1 宅地 297.43平方メートル

大分県大分市大字羽田字菖蒲田73番1 宅地 250.79平方メートル

3 その他財産は、基本財産及び公益事業用財産以外の財産とする。

4 公益事業用財産は第39条に掲げる公益を目的とする事業の用に供する財産とし、同条第1項(4)に規定する事業用財産は次のとおりとする。

(1) 有料老人ホーム紅葉苑

(建物) 苑舎 1棟

大分県大分市大字羽田字菖蒲田70番地1、73番地1、大分県大分市大字羽田字其平39番地1所在の鉄筋コンクリート造陸屋根3階建内1,292.16平方メートル

(土地) 苑舎敷地2筆

大分県大分市大字羽田字菖蒲田70番1 宅地 428.00平方メートル

大分県大分市大字羽田字菖蒲田73番1 宅地 360.90平方メートル

5 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

第32条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事会において理事総数の3分2以上の同意及び評議員会の承認を得て、市長の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、市長の承認は必要としない。

(1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合

(2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合（協調融資に係る担保に限る。）

(資産の管理)

第33条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

(事業計画及び収支予算)

第34条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会において理事総数の3分2以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第35条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）

(5) 貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の附属明細書

(6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事並びに評議員の名簿

(3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第36条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第37条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第38条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようと

するときは、理事総数の3分2以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。

(保有する株式に係る議決権の行使)

第39条 この法人が保有する株式(出資)について、その株式(出資)に係る議決権を行使する場合は、あらかじめ理事会において理事総数(現在数)の3分の2以上の承認を要する。

## 第7章 公益を目的とする事業

(種別)

第40条 この法人は、社会福祉法第26条の規定により、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として、次の事業を行う。

- (1) 居宅介護支援事業
- (2) 指定介護予防支援事業
- (3) 地域包括支援センターの受託運営
- (4) 有料老人ホームを運営する事業
- (5) 保育園を運営する事業

2 前項の事業の運営に関する事項については、理事総数の3分の2以上の同意を得なければならない。重要な事項については、理事総数(現在数)の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。

## 第8章 解散

(解散)

第41条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第42条 解散(合併又は破産による解散を除く。)した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

## 第9章 定款の変更

(定款の変更)

第43条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て市長の認可(社会福祉法第45条の36第2項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。)を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を市長に届け出なければならない。

## 第10章 公告の方法その他

(公告の方法)

第44条 この法人の公告は、社会福祉法人松山会の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子広告に掲載して行う。

(施行細則)

第45条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附則

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理事長	浦田 啓 司 郎	監 事	首藤 政 美
常務理事	浦田 照	監 事	下田 章 一 郎
理 事	衛藤 征 士 郎		
理 事	安東 敏 真		
理 事	秋吉 貢		
理 事	藤本 公 一		
理 事	仲摩 衛		

附則

平成6年 9月30日 定款変更認可（指令高齢福第96-11号）  
（事業目的の追加、定款準則の改正に伴い字句の変更追加、訂正）

平成8年 5月 8日 定款変更認可（指令高齢福第242-1号）  
（事業目的の追加、登記簿による地目及び面積の変更）

平成9年 3月11日 定款変更認可（指令高齢福第242-21号）  
（事業目的の追加による変更）

平成9年 7月 2日 定款変更届出  
（資産増による追加）

平成9年11月12日 定款変更認可（大分市指令第1326号）  
（定款準則の改正に伴い追加、中核市移行に伴い所轄庁の変更）

平成10年 3月 2日 定款変更届出  
（土地合筆による変更）

平成12年 3月31日 定款変更認可（大分市指令第2761号）  
（増築による基本財産の変更、公益を目的とする事業の追加、字句の変更）

平成12年 9月 4日 定款変更認可（大分市指令第1225号）  
（大分市に土地寄付による基本財産の一部処分）

平成13年 7月 6日 定款変更認可（大分市指令第424号）  
（目的及び業務の変更）

平成16年 5月12日 定款変更認可（大分市指令第187号）  
（業務の変更）

平成17年 6月 9日 定款変更受理 (大分市高福第528号-1)  
(土地取得による変更)

平成17年 8月 9日 定款変更認可 (大分市指令第24361号)  
(土地の等価交換による基本財産の変更)

平成18年 3月29日 定款変更認可 (大分市指令第27993号)  
(資産の増)

平成18年 7月10日 定款変更認可 (大分市指令第1922号)  
(資産の増及び事業目的の追加による変更)

平成18年11月21日 定款変更認可 (大分市指令第4555号)  
(事業目的の追加・変更)

平成19年 7月 6日 定款変更認可 (大分市指令第2308号)  
(事業目的の変更)

平成20年 1月 9日 定款変更認可 (大分市指令第6245号)  
(事業の廃止)

平成20年 3月 4日 定款変更認可 (大分市指令第7455号)  
(事業目的の変更、役員の変更)

平成22年 3月 3日 定款変更認可 (大分市指令第7404号)  
(資産の増)

平成23年 6月17日 定款変更認可 (大分市指令第1208号)  
(資産の増及び事業目的の変更)

平成23年10月24日 定款変更認可 (大分市指令第2824号)  
(筆数の変更)

平成24年 6月26日 定款変更認可 (大分市指令第1408号)  
(資産の事業目的による変更)

平成25年10月23日 定款変更認可 (大分市指令第2774号)  
(役員定数の変更)

平成26年 4月10日 定款変更認可 (大分市指令第 244号)  
(資産及び会計・公益を目的とする事業の変更)

平成27年 4月22日 定款変更認可 (大分市指令第 260号)  
(公益を目的とする事業の変更)

- 平成27年10月23日 定款変更認可（大分市指令第4131号）  
（総則の追加による変更）
- 平成28年 6月27日 定款変更認可（大分市指令第1249号）  
（資産及び会計の変更）
- 平成29年 2月 8日 定款変更認可（大分市指令第4400号）  
（社会福祉法一部改正に伴う定款の変更）
- 平成30年 2月15日 定款変更認可（大分市指令第4451号）  
（資産及び会計・公益を目的とする事業の変更）
- 令和 2年 8月 6日 定款変更認可（大分市指令第1141号）  
（資産及び会計の変更）
- 令和 3年 1月22日 定款変更認可（大分市指令第4502号）  
（責任の免除の追加による変更）
- 令和 4年 7月 5日 定款変更認可（大分市指令第1434号）  
（総則の追加による変更）
- 令和 5年 6月23日 定款変更認可（大分市指令第1150号）  
（総則の追加による変更）
- 令和 5年 8月14日 定款変更認可（大分市指令第1578号）  
（資産及び会計の変更）